



音羽中学校
学校だより

OTOSEMI 音翡翠

令和7年9月16日(火)
第28号



宮路山タイム 3C Aさん



「本と出会うことは、人と出会うこと」

この言葉を見て気づかされました。古き良き文化が残り続ける社会であるべきだと。一中略一ふと目についた本の帯の言葉が気に入って本を買い、その「出会い」によって人生が変わることもあるはず。こうした「偶然の出会い」はとても貴重です。これは書店にしかない魅力で、「偶然」かもしれないけれど、「出会う」機会自体がなくなってしまうのは悲しいことだと思います。一中略一便利なものが増えていく一方で、それまでの文化は徐々になくなりつつあります。どちらか一方だけが淘汰されるのではなく、どちらの良さも理解でき、楽しめる人々や社会であってほしい。そのために、私はこれから視野を広げて古きも新しきも双方の良さや欠点を考えたうえで利用していきたいです。そして、「古き良き」を広めるために自分から発信できるようになりたいです。



9月10日(水)の宮路山タイムは、中学生の主張に音羽中の代表として出場した寛さんからのお話でした。タイトルは「古き良き文化」です。寛さんのお話は、考えさせられる内容の上、聞きやすい語り口でした。お話後の各自の振り返りも静かにできました。

避難訓練(地震と火事・日時の予告はなし)



生徒には訓練の日時を知らせず、休み時間に避難訓練を行いました。想定は、地震が起き、その後、調理室から出火したというものでした。事前指導として、学級で、地震が起きた後、どのような被害が考えられるか、どこにいたらどの経路を通過して避難するのが安全なのかをグループで考えました。そして、実際に訓練を行い、訓練後は、運動場と教室にて振り返りをしました。

地震は、いつ起きるかわかりません。地震だけの被害でおさまるとも限りません。「もしもの日」に備え、訓練をして、動けるようにするとともに、今回は何ができて何が足りなかったかを考えることに意味があります。以下の振り返りをみんなで共有しましょう。

- ・避難訓練の時に私は教室にはいなかったのですが、今回私は、1回教室に戻りました。ですが、本当に地震が起きていたら、教室に戻る前に運動場へ行った方がいいのかなと思いました。訓練でも想像するのは、すごく難しいと思いました。(1年生)
- ・調理室から出火している今回の場合、2年生玄関から出るのは火元が近いので、危険だと感じたので、1年生の方から回った方が遠回りだけど安全だったかもしれないです。地震のことも火事のことも考えながらの避難は大変でした。(2年生)
- ・教室にいたけど指示が出されるまでどうしたらいいか混乱してしまって、自分から動けなかった。もし本当に起きてしまったらもっと困ると思うし、怪我の危険も増えると思うので、もっと安全に自分から行動できるように、そして冷静に対応ができるようにしたいです。(3年生)